

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1290901204		
法人名	ヒューマンライフケア株式会社		
事業所名	ヒューマンライフケア船橋グループホーム		
所在地	千葉県船橋市夏見台5-12-15		
自己評価作成日	令和6年3月20日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaijokensaku.jp/12/index.php
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 日本ビジネスシステム		
所在地	千葉県 市川市 富浜 3-8-8		
訪問調査日	令6年3月23日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

日常生活を送るうえで、毎日散歩に出かけることでADLの低下を防ぎ、気分転換を図り季節を感じていただいている。食事の準備もスタッフだけで行うのではなく、ご入居者と盛り付けや調理等共同で行っている。他に洗濯物置みや食器洗いや掃除等ご入居者が出来ることはないかを日々スタッフ間で話し合い、ご入居者が出来ることを最大限行っている。管理者とスタッフの距離はなく、何かしたいことがあれば積極的にいける環境であり、利用者だけでなくスタッフ間のコミュニケーションも大切にしている。法人全体でのケアテクニカルマイスター制度があり、マイスターを取得しスキルアップに繋がっている。開設3年が経過し落ち着いてきたので、新しい取り組みを取り入れながら、施設の安定に力を注ぎたい。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

「笑顔とこころ、いつでも人が真ん中」という法人理念を原点に置いておくと共に、「入居者様とご家族様の思いに寄り添い、思いやりをもって地域と共に歩み続けます。」という施設理念を掲げており、入居者一人ひとりに寄り添うケアの実践に取り組んでいる。日頃から、入居者と職員が共同で調理や洗濯物置等の家事を行っていると共に、体操や塗り絵・脳トレ等のレクリエーション活動や運動会やクリスマス等の月毎の行事にも力を入れており、心身機能の活性化や楽しみある生活に繋げている。コロナが5類に移行し、感染対策の緩和はされているが、コロナ禍前の状態には戻っていないため、外出は見合わせているが、散歩やドライブ、敷地内駐車場を活用した活動により、戸外での楽しみを支援している。医療面については、医師による内科・皮膚科・精神科・耳鼻科・眼科の往診が可能であると共に、訪問看護も含め24時間体制で連携しながら、入居者の健康管理が行われている。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	66	職員は、生き生きと働いている (参考項目:11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	入職時に説明を行い、日々理念に基づいた支援をスタッフ間で話し合い取り組んでいる。	、「笑顔とこころいつでも人が真ん中」という法人理念を明記していると共に、「入居者様とご家族様の思いに寄り添い、思いやりをもって地域と共に歩み続けます。」という施設理念を掲げおり、施設内に掲示し、職員や外部の人達へ周知を図っている。理念については、新人研修に組み込んでおり、理念を意識した支援の統一を図っている。定期的に会議や研修を通して、サービス提供場面の振り返りや理念に基づくケアの確認を行う等、理念を意識したケアの実践に取り組んでいる。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	訪問パン屋の購入時に店員さんとの会話や運営推進会議にご利用者様に参加して頂き発言していただいている。	自治会に加入していると共に、日頃から近隣住民とは散歩時の挨拶等通して良好な関係を築いている。コロナが5類に移行し、感染対策の緩和はされているが、コロナ禍前の状態には戻っていないため、地域との交流機会は控えている。但し、訪問パン屋店員さんとのふれあいや運営推進会議時に地域の人達と接する機会もあり、地域との交流に積極的に取り組んでいる。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議で施設の取り組みをお伝えしている。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	昨年秋より再開して3月で3回目の実施となった。地区会長様や薬局の方、訪問看護の方にも参加していただいている。5月開催はご家族参加予定である。	コロナが5類に移行し、感染対策の緩和に伴い、11月から対面での運営推進会議を再開しており、地域包括センター職員・地区会長・薬局職員・訪問看護師・利用者・施設職員を構成員として行われている。会議では施設の活動報告や意見・情報交換を行い、事業所運営やサービスの質の向上に繋げている。また、会議では消防訓練やイベント等の施設の活動状況を写真を活用しながら報告する等、施設の理解促進に努めている。来期は家族の参加も予定されている。	

【千葉県】ヒューマンライフケア船橋グループホーム

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	困りごと等があった際にはご相談をさせて頂く。	日頃から行政に対して、業務上の相談や報告を行っており、施設の実情やケアサービスの取組を伝えている。船橋市から事業者向けの研修案内や最新情報等が配信されており、施設運営に活用している。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	3ヶ月に1回身体拘束廃止委員会を実施して、その時点で身体拘束に対する確認を行っている。	身体拘束排除における指針及びマニュアルを整備すると共に、内部研修を実施する等、全職員が身体拘束排除における意義を理解している。また、3か月に1回身体拘束廃止委員会を開催しており、支援方法を検討する等、身体拘束の無いケアの実践に取り組んでいる。その他、身体拘束排除・高齢者虐待防止・権利擁護に関する内部研修を実施しており、理解徹底をに努めている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	身体拘束廃止委員会(虐待防止を含む)を3ヶ月に1度行い、その時点で対応の確認を行っている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	研修を行う機会が無く、現時点で出来ない。来期(4月)より意識して研修を行いたい。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約に関しては管理者からご家族にしっかりと説明をしている。面会時や面談時にもご家族から問われた時はお答えしている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	定期的にご家族との面談の場を設けて、ご意見を伺っている。	面会や電話連絡、運営推進会議を通して、家族の意見や要望を確認している。挙がった意見・要望においては、会議や申し送り時に周知・検討を行い、適切な対応に努めている。毎月、事務連絡送付時に入居者個々の近況や施設の活動状況伝える等、施設の透明性確保及び施設の理解促進に努めている。	

【千葉県】ヒューマンライフケア船橋グループホーム

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月のフロア会議や日々の業務の中でのコミュニケーションの中で意見を聞き、反映できるように取り組んでいる。	定期的に全体会議やユニット会議を開催しており、職員の意見や提案等を確認している。また、管理者や法人職員が個別に意見や思いを確認する機会を設ける等、働きやすい職場環境の整備に努めている。法人主催の運営会議やブロック会議に管理者が参加しており、施設の運営状況や取組等を直接伝える仕組みが整備されている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	上半期と下半期で年4回個別面談を行っている。その際意見を聞き取り、現場の状況に意見等を反映している。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	月に1度テーマを決めて、研修を行っている。自社のケアテクニカルマイスター(社内研修)の取得を促し、スタッフ全体のスキルアップに繋がっている。移乗等不慣れな職員に対しては個別指導を行っている		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	昨年暮れより、船橋医療センターで行っている、地域交流会に参加している。令和5年度は2回参加し、交流を深めている。		
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご利用者様が不安にならないように、常に声掛けを行い、安心できる関係作りに努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居前の面談で、ご本人・ご家族から聞き取りを行っている。入居後のご家族との面会時や面談で、ご家族の要望などにお答えしている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居するタイミングなども含めて、ご本人やご家族と話し合いを十分にしてから入居して頂いている。		

【千葉県】ヒューマンライフケア船橋グループホーム

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ご利用者が自身で行えることは最大限に行っていたり、認知症が進んだりADLが低下し、難しくなった場合などは職員が声かけや動作の一部介助を行い、極力ご自身で行えるように支援している。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会時に積極的にコミュニケーションを取るようしており、施設入居以前の過ごし方などを聞き、参考にしている。面会時や面談時に意見や要望は確認している。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	面会をご家族限定にせず、お仕事をされていた時の友人等にも声をかけて頂く。	コロナが5類に移行し、感染対策の緩和に伴い、家族との外出・外食・外泊も自由となり家族関係継続を支援している。また、友人・知人・親戚等の来訪や電話を随時受け付けており、馴染みの人との交流も大切にしている。入居者個別の要望に応じて、移動パン屋や行きつけの商店での買い物に加え訪問理美容の活用等、入居者一人ひとりの習慣・生活歴・思いに配慮し、その人らしい暮らしが継続ができるよう支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士がコミュニケーションが取れるよう席の配置や、仲の良い利用者の席の隣へ案内を行ったりしている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	ご逝去後は関係性は終了している。転院や他の施設に移られた後も基本的に関係性はほぼ無い状態。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ご本人の趣味や生い立ちなどから取り組める活動の声掛け、また日常の生活の中で何を望んでいるか観察、コミュニケーションに努めている。	入所前に本人及び家族から意向・生活歴・身体状況等を確認している。また、必要に応じて、医師や他のサービス事業所から情報を収集し、入居者一人ひとりに合わせた支援に取り組んでいる。入所後も情報把握に努めており、会議等で検討や確認を行う等、現状に即した支援に活かしている。	

【千葉県】ヒューマンライフケア船橋グループホーム

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご家族との面会時や面談時に過去の生活環境や若い時の生活について聞き取り、現在のサービス提供に反映させている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	時間がかかってもご本人が出来ること、出来そうなことは、声掛けや側で見守り行っている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	居室担当からの意見や、相談などあれば毎月のフロア会議にて話し合い、より良い方向に向かうよう支援している。	本人や家族の意向を配慮した上で検討会議を行い、介護計画を作成している。また、医師や看護師からも意見の確認を行っており、現状に即した支援内容になっている。定期的に目標の達成状況の確認や評価を実施しており、必要に応じて介護計画の見直しを行っている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別記録は2時間おきの間隔で利用者様の様子を記載している。Ipadを利用して、日々の記録を記入して情報共有を行っている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	1日の流れのタイムテーブルにて業務に取り組んでいるが、状況に応じて変化することもある。その都度職員間で声掛け、周知して状態に合わせたサービスを行っている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	コロナの流行は治まってきているが、万が一のため、施設周辺の店に買い物に行くことは禁止している。月に1度の訪問理美容と訪問パン屋で外部との交流を図っている。ドライブも計画中。		

【千葉県】ヒューマンライフケア船橋グループホーム

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	施設は基本的に往診医が定期的に往診に来られる。外部受診はご家族同伴を依頼している。	家族の協力及び職員の同行により、希望する医療機関の受診を支援している。また、月2回、協力病院の医師による内科の往診が実施されると共に、必要に応じて訪問歯科も行っており、医療機関と密接な連携を図っている。緊急時や急変時においては、協力病院の医師との連携により、迅速な対応に努め、入居者や家族の安心に繋げている。その他にも、週1回、訪問看護を導入し、健康管理・医療処置・相談等が行っており、入居者や家族の安心に繋げている。希望に応じて訪問リハビリを実施しており、心身機能の維持・回復を目指している。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	月2回、訪問看護の往診があり、往診時にアドバイスを頂いている。3月の運営推進会議に参加し発言していただいた。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院した際はアセスメントの提供。その後、病院やご家族様と連絡をとり状態確認を行っております。退院前はカンファレンスを行い、退院後の対応が混乱しないように努めています。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	早い段階で、ご家族様に日常生活や状態含め、報告、密に連絡を取り合い今後の方向性の確認を行っている。ご本人、ご家族の希望を重視した上で医療従事者と連携を取り合い、可能なことは職員全員で周知しケアに取り組んでいる。	重度化・終末期における施設の方針を明文化しており、入居者・家族への意向確認及び同意を得ている。重度化においては、医師と24時間連絡が可能となっており、連携体制を構築している。終末期の対応については医療機関との連携による適切な対応に繋げている	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変時の個別ファイルを作成し、対応を記載。すぐに取り出せる場所に置いてあることと連絡先など職員全員が周知している。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	令和5年度は消防立ち合いのもと避難訓練を2回行った。今後も継続的に訓練を行い、職員の意識を高めていく。	スプリンクラー・自動通報機・火災報知機等の消防設備を設置していると共に、年2回の避難訓練と設備点検を実施している。訓練では、消防署立会いによる消火器訓練・通報訓練等を行っており、災害時及び非常時の避難方法を身に付けている。訓練状況については、運営推進会議で写真で報告しており、災害時における地域への協力の呼び掛けも行っている。	年2回の消防署立会いによる消火器訓練・通報訓練等を行っており、災害時及び非常時の避難方法を身に付けている。今後、様々な災害に対応できるよう、日中・夜間及び台風・地震・水害等を想定した災害時の対応方法を身に付ける等、実践的な訓練を行って頂くことに期待したい。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	職員が入居者様を何々ちゃんと呼んだり、記録などに不適切な記録を記入した時は管理者が指導している。居室などに訪室する時はノックをして訪室理由を説明し入るようにしている。	プライバシー保護や接遇に関する研修を定期的に行っており、入居者一人ひとりのプライバシーと尊厳を大切にしている。また、個人情報保護についても、研修・会議等を通して周知徹底を図っている。日常生活では、入居者個々に合わせた言葉掛けや支援に努め、その人らしい生活の実現に繋げている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	定期的に入居者様に声掛けし現在の生活状況や今後やりたいことなどを確認している		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入居者様の生活も日々変化するので、その日の状態に合わせた生活スケジュールを組み立てている。決して無理強いしない支援を行っている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	意思疎通が出来る入居者様は入浴時には着る服の希望の確認をしたり、起床時や入浴後はドライヤーや櫛を渡し鏡の前でセットしていただいたりしている。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	調理の際、皮むきなどが出来る方には手伝っていただいている。食前のテーブル拭きや食後の洗い物や片付けも見守りを行いながら行っている。	食事の準備及び調理は職員が行っているが、食器洗い等の片付けは、入居者と共同で行っている。献立や食材は、業者に委託しているが、季節に応じた行事食、誕生会の際のリクエスト食やケーキの提供を行っている。また、手作りおやつ、お寿司や弁当等のテイクアウトの活用等、様々な食事メニューや雰囲気作りを工夫し、入居者の生活活性化に繋げている。	

【千葉県】ヒューマンライフケア船橋グループホーム

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	体重とのバランスが必要であるが、おかわりを希望された方には提供し、あまり食欲が無い方などには無理強いしないようにしている		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後に職員と一緒に歯磨きを行っている訪問歯科からの定期的なアドバイスを受けながら口腔内の清潔保持に務めている。		
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	その方に合った排泄方法や時間などを職員間で検討し実施している。職員から無理強いして排泄の支援を行わず、入居者様の希望などを確認して排泄の支援を行っている。	排泄状況は業務管理システムの記録機能を活用しており、回数や医師からの指示等の支援内容を全職員が共有している。入居者一人ひとりの排泄パターンの記録を基に、トイレ誘導や声かけを行う等、排泄の自立に向け支援している。また、水分補給・乳製品や海藻の摂取に加え運動を取り入れる等、自然排便を促す工夫がなされている。必要に応じて、医師や看護師に相談し、適切な排便コントロールに努めている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘気味の方には歩行や屈伸運動の支援を行ったり、水分補給を促したりして便秘予防の対策支援を行っている。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	入浴拒否がある方は無理強いせず時間をずらしたり日にちをずらして行っている。入浴剤を入れたり季節によってヨモギ湯やゆず湯なども行っている。	入居者の体調や希望に応じて、適切かつ柔軟な入浴を支援しており、清潔保持に努めている。また、白癬のある入居者に対しては、足浴を実施し、症状の改善を図っている。その他、入浴剤の活用や季節に応じた柚子湯等の実施により、入浴が楽しみになるように支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	就寝時間を作らず一人ひとりの生活習慣に合わせた支援を行っている。夏の暑い時や冬の寒い時などはエアコンを使用し就寝しやすい温度設定をして支援を行っている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬情ファイルの確認をするよう管理者から職員に声掛けを行っている。体調の変化の確認で明らかな薬の影響がある場合は、訪問医や薬局に確認している。		

【千葉県】ヒューマンライフケア船橋グループホーム

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	定期的に入居、居者様に好きなことややりたいことなどを確認し希望に添えるような楽しみごとを職員間で相談し実施している。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	外泊されたり、日帰りでご家族と食事に行かれていられるご利用者もおられる。今後、施設の取組としてドライブを予定している。	外出は現在コロナ禍前の状態には戻っていないため、要望や状況に応じて支援しており、散歩や外気浴に加え、ドライブや買い物等は日常的に行っている。年間行事として、初詣やお花見等の季節の行事を実施しており、感染対策を講じながら、戸外での楽しみを支援している。また、敷地内駐車場を活用した活動を行っており、入居者の気分転換や生活活性化に繋げている。また、運動会やクリスマス等の行事を毎月実施していると共に、体操や塗り絵・脳トレ等を実施しており、室内での活動にも力を入れている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	現在は入居者様に金銭は所持していただいていない。預かり金で本人の希望された食べたい物などは職員が購入している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	手紙に関しては入居者様から出すことはないがご家族からの手紙は入居者様に渡している。電話に関しては入居者からかけることはないが、ご家族から希望があればご本人と話ができる支援をしている。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居者様が見たり聴いたりしているテレビの音が大きい場合は音を下げさせていただいている。夜間時にトイレに行かれる時は転倒防止もあるので暗すぎず明るすぎずの照明を心掛けている。季節の壁紙をフロア内の壁に貼るなどして、季節感も感じられるようにしている。	施設内はバリアフリー環境が整っており、十分な介助スペースが確保されている。また、エレベーターが設置され、入居者の身体状況や安全面に配慮した設備環境が整備されており、入居者・家族の安心と自由な生活に繋がっている。施設共有スペースには、椅子・ソファ等が設置され、入居者が自由にくつろげる環境作りがなされている。また、写真・作品の掲示や季節飾りを施し、明るく楽しい雰囲気作りにも努めている。その他、敷地内に菜園があり、季節を感じる植栽がなされている。	

【千葉県】ヒューマンライフケア船橋グループホーム

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共同生活なので人間関係で合う合わないがあるので職員間で相談しながら座席の組み換えを行ったり、レクリエーションを行う場合は入居者様全員に声掛けを行っている。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	自宅に過ごされていた時と同じ空間が作れるように、入居者様とご家族と相談しながら好きな物を居室に置けるよう工夫している。	入居者・家族の希望に応じて、馴染みの家具や写真等を自由に持ち込む事が可能となっており、居心地良く生活が出来るよう配慮されている。また、テレビ・ポータブルトイレの設置や布団を敷く事が可能となっており、生活歴に合わせた居室作りがなされている。その他にも、収納スペース・鍵・ナースコールが設置されており、安心・安全やプライバシーに配慮した設計となっている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	トイレや自分の居室などを忘れてしまう入居者様も多いので、その場所まで案内し安心安全で自立した生活が送れるように工夫している。		